

生活リハビリセンター 六三四・雅たより



第18No.

社会福祉法人 六三四

TEL 042-343-1895

FAX 042-346-0283

本部 ☎187-0042

東京都小平市仲町364番地1

六三四 指定生活介護事業所番号 1313401018

雅 指定生活介護事業所番号 1313401026

e-mail musashi@musashi1895.jp

HP-URL <http://musashi1895.jp/>

リハビリテーション、福祉、街づくり

社会福祉法人 六三四

理事長 山口 明

今年度、新たに『社会福祉法人六三四』として正式に認可され、新たな一步を踏み出しました。長い間、法人化に向けて努力されてきた全ての利用者と御家族、スタッフに敬意を表します。振り返れば、昭和61年小平小川町に身体障がい者通所訓練施設「春望」として産声を上げて以来34年もの歴史を背負っての出発です。熊野宮の宮司さんや氏子、近隣の方々に支えられ、仲町熊野宮境内を拠点に日中作業活動などに加え、グループホーム設立・運営、相談支援活動など多彩な福祉活動を今や42名ものスタッフで担っています。

やくしん しゃかいふくしほうじん む さ し ふなで と ま ちいきかんきょう くに ふくし
躍進する「社会福祉法人六三四」の船出ですが、取り巻く地域環境、わが国の福祉

せいさく しょう しゃ つめ ぜんとたなん
政策は障がい者にはまだまだ冷たく、前途多難です。

それにしても、さいきん よ なか うご み けんぼうかいあく
それにしても、最近の世の中の動きを見ていると、「モリカケ」といい「憲法改悪」

こうぶんしょ うそ かい かんじん ふくし かいご いるようせいさく き つ きりす
「公文書をめぐる嘘、改ざん」ばかり肝腎の福祉・介護・医療政策は切り詰め、切捨

しゅうし まった は おも まいにち
てに終始し、全く歯がゆい思いのする毎日です。

わ くに しょうらい い のこ あんぜん ふくしけいざいちいきぞう せつけい せいじか
我が国を将来も生き残れるエコで安全な、福祉経済地域像を設計できる政治家は

えいえん で
永遠に出てこないのでしょうか。

せんじつ い と こ す ちゅごくさんち やまあい はなし き ちいき じゅうらい さんりんしよくじゅ
先日、従兄弟の住む中国山地の山合の話を知りました。この地域は従来は山林植樹

ばっさい やま さんさい きのこ めぐ せいかつ わか ひと げんしょう やま
伐採と山の山菜・茸などの」恵みで生活してきたところですが、若い人が減少して山

しごと けいぞく もり さんりん あ ほうだい けっか やまくず
の仕事が継続できなくなり、森・山林は荒れ放題ということです。結果として山崩れ

お さとやま えいよう かわしも はこ うみ えいよう ふそく じたい お
が起きたり、里山の栄養が川下に運ばれず、海の栄養が不足するという事態も起き

げん さんりん ほうち
ています。また、エネルギー源としての山林も放置されています。

ふもと ちほうとし げんき にほんかくちほん がい
そして、麓の地方都市は元気なのかといえば、日本各地殆ど「シャッター街」に

しょうちょう ありさま
象徴される有様です。

おり お こくぜい こ こくみん だま せいかん じょうたい
そんな折、「モリ、カケ」に惜しみなく国税をつぎ込み、国民を騙す政官の状態を

ほうち にほん こくど し しんりん わりあい つ
放置していいのでしょうかね。日本は国土に占める森林の割合がフィンランドに次

せかいだい い だい い ちほうとし
いで世界第2位だそうです。第3位のスウェーデンをみてみますと、ある地方都市も

しんりんくみあいしゅどう ばっさいざいりょう げん だい きぼ はつでんしょ まちぜんたい じゅうきよ しゅうごう
森林組合主導で伐採材料をエネルギー源に大規模な発電所と街全体の住居・集合

住宅・公共建物に給湯・暖房体制を、同時に行いしかも保温の優れた木造高層建築の研究開発を世界に先駆けてすすめ、積極的な環境保護の模範地域として注目を集めています。

未だに何兆円の無駄を生みながら原発に執着しているどこかの国とは大違いです。

住民目線、国民目線で都市の将来構想を考えなくてはいけない時期に来ていると思

います。地方包括ケアの課題もこの一環としてとらえる必要があります。地域では

独居高齢者が2割を超えます。その半数が年収150万円以下というレポートもあ

ります。貧困や孤立の問題に地域の保健師、ケアマネはどう現状の枠組みを乗り越え

た発想・取り組みができるのか、社会福祉協議会のソーシャルワーカーと地域づく

り、障害者・高齢者の住みやすい住居、住環境の保証、これらを考え支えていく使命

をもった「地域ケア会議、多職種連携」、そしてコミュニティづくりを目指す地域

事業体の活動の重要性を特に強調しておきたいと思えます。『障がいのある人もな

い人も老若男女、住み慣れた地域で一人の市民として自分らしい生活を安心して安全

に送れるための街づくり』がわれわれ市民の目標であり、リハビリテーションの

究極の目標はここにあります。

就任のご挨拶

社会福祉法人 六三四

理事 西角 昭

社会福祉法人「六三四」設立、おめでとうございます。

この法人化に伴い理事を拝命いたしました社会福祉法人「未来」の理事長をしております

西角と申します。山口さんに未来の理事をお願いしている関係でご縁があり、私を六三四の

理事にご推薦頂き有難うございます。ご期待に添えますかどうか判りませんが、お邪魔に

ならないよう、お手伝いをさせて頂きますのでよろしくお願い申し上げます。

みんなの家77のボランティアから始まり、リズム工房、ともにネット、未来、そしてこ

の度六三四の理事と、複数の施設にお世話になり、ようやく福祉の「ふ」が解って来たよう

な気がいたしますが、未だ理解に苦しむような事も多々ございます。

そろそろ後期高齢者ですが若い職員の方々の中へ入れて頂くことで、良い好齢者になれ

るよう皆さんと切磋琢磨して行きたいと思っております。

社会福祉法人六三四 機関紙 寄稿

社会福祉法人 六三四理事

社会福祉法人未来事務局 長

白田典子

この度、社会福祉法人六三四の理事に就任いたしました、白田典子と申します。日頃は、小平市内

の社会福祉法人未来で勤務をしております。六三四と未来は、職員や施設長の交換実地研修や、

合同で利用者の送迎サービスを実施するなどの協力関係にあり、これまでも多く係わりがありま

した。今後は、六三四の役員として、利用者が安心して暮らしていける住みよい地域を目指して、微

力ながら六三四の発展に尽力できればと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

評議員就任のご挨拶

社会福祉法人 六三四評議員

社会福祉法人つむぎ

おだまき工房施設長 岡田真人

「六三四の中心を担う、山口さん、河合さん、伊藤さんたちスタッフのみなさんとは、障害者団体

連絡会の役員などの活動を通して親しくなりました。

地域の活動には無関心な方が多い中、若くても地域の活動のために汗を流す姿に、こちらも元気づけられています。

また、重度の方向けのグループホームの立ちあげをはじめ、小規模であっても地域のニーズに応える

ために先駆的に社会資源をつくっていく意欲と行動力には目を見張る思いです。

みなさんのフレッシュな熱い気持ちに共感し、少しでもお役に立てたら、勉強できたらという思い

で、役員としてかかわらせていただくことにいたしました。

どうぞよろしくお願いいたします。」

社会福祉法人 六三四設立のご挨拶

社会福祉法人 六三四

理事 山口 建

かねてより、社会福祉法人設立の準備を鋭意進めてまいりましたが、このたび発足の運びとなりました。これもひとえに、皆様方のご厚情ご支援の賜と心より感謝申し上げます。今後は、より一層多職種連携がなされ誰もが、地域で安心した普通の暮らしを営むことができるよう、また具現化するためにも医療分野・高齢福祉分野・障がい福祉分野の連携を推進していかなければならないと考えております。平成30年地域包括ケアシステム、平成32年には地域生活支援拠点の実施と地域には実施するにあたりさまざまな課題がありますが、小平市第五期障害福祉計画、第一期障害児福祉計画に沿った計画の遂行、地域移行・定着の基盤を支えるべく新規事業の整備を緊急課題として事業を展開していく事が責務であります。

2014年1月に日本が批准した国連の障害者権利条約の理念に基づき、本人の意思決定支援へのアプローチも今後のもっとも大きな課題とし、障がい者の人権と主体性が尊重され、必要な支援を受けながら地域で自立生活ができる福祉サービスの提供を、社会福祉法人 六三四として皆様方と共に築きご期待に添うべく職員一同さらなる精励を期して邁進いたす所存でございます。何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



今後の予定

- ・5月3日(木) 憲法記念日・開所日
- ・5月4日(金) みどりの日・開所日
- ・5月18日(金) メンバー懇談会
- ・6月18日(月) メンバー懇談会
- ・7月16日(月) 海の日・開所日
- ・7月17日(火) メンバー懇談会

(毎週火曜日) 個別言語訓練(菅ST)

(毎週金曜日) 個別理学訓練(秋葉PT)

(毎週月・水・木曜日) 個別理学訓練(寺田PT)

3月にお食事会の後、白山公園にてお花見

をさせていただきました。天気にも恵まれ

て青空の下で薄桃色の花が咲き乱れると

いう最高の条件でした。次回も楽しい

企画を計画させていただきます。よろしくお

願いします。



